

# 令和3年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間	
1 学期	4	導入	○ガイダンス「『序章 人間と社会へ学習の視点へ』を考える」	次の観点に基づき、評価する。 上段：育成する資質 下段：育成する能力 <b>【2学ぶことの意義】</b> 人生における学びの大切さ、学ぶ面白さ、奥深さを知り、将来に向けて主体的に学び続ける姿勢をもっている。 ⇒自律 ⇒自己理解・自己管理能力  <b>【3働くことの意義】</b> 働く意義を理解し、自身の将来を考えている。 ⇒責任、勤勉 ⇒キャリアプランニング能力  <b>【6スマートフォン時代のコミュニケーション】</b> 携帯・スマホの問題点を踏まえ、最適な使い方ができる。 ⇒規範意識、公德心 ⇒自己理解・自己管理能力  <b>【8あなたにも発揮できるリーダーシップとは】</b> 自己の特性をチーム活動に活かしている。 ⇒社会連帯、共生 ⇒人間関係形成・社会形成能力  <b>【13地域社会を築く】</b> 自助・共助・公助の意義や姿勢が身に付き、災害時に地域社会と協働する力が身に付いている。 ⇒社会連帯、共生 ⇒人間関係形成・社会形成能力 上記の【】全てに共通 ・主体的、協働的に取り組んでいる。 ・自分の行動や考えをまとめ、発表している。 ・他者の行動や考えを共有している。 ・自分と社会との関わりを考え、より良く生きようとしている。	1	
		演習	○【6スマートフォン時代のコミュニケーション】 生活指導部+1学年 ※テキスト使用 「携帯・スマホの使い方～連携先：(株)LINE」 →事前 問題点を踏まえ使い方を考える。 →事後 ワークシートを活用して振り返る。		2	
	5	演習	○【2学ぶことの意義】【3働くことの意義】※テキスト使用 進路指導部+1学年 →進路適性検査を行う。		1	
	6	事前学習・体験活動・事後学習	○【13地域社会を築く】※テキスト使用 総務部+1学年 「防災訓練～連携先：地域自主防災会、日野市、消防署等」 →事前 防災訓練の目的・方法を学ぶ。 →体験 救護体験、炊き出し等を行い、「地域社会」で活動することを体験する。 →事後 グループ内での討議、ワークシートの活用		1 4 (奉仕体験4) 1	
		演習	○【8あなたにも発揮できるリーダーシップとは】※テキスト使用 進路指導部+1学年 「紙タワーワークショップ～連携先：NPO法人16歳の仕事塾」 →演習 「社会人基礎力」について学ぶ。 「紙タワーワークショップ」「自己診断」実施 自己診断結果に基づき、今後のチーム活動における活動の在り方を考える。		2	
		演習	○【2学ぶことの意義】【3働くことの意義】※テキスト使用 進路指導部+1学年→進路適性検査の結果を参考に、将来を考える。		1	
	7	事前学習・体験活動・事後学習	○【13地域社会を築く】※テキスト使用 総務部+1学年 「避難所運営ゲーム～連携先：日野市社会福祉協議会等」 →事前 ゲームの目的・方法を学ぶ。 →体験 「避難所運営ゲーム」を体験し、災害時に「地域社会」と協力し都立高校生としてどのような活躍ができるかを考える。 →事後 グループ内での討議、ワークシートの活用		3 (奉仕体験2)	
		事前学習	→事前 各自が、夏休みの体験活動の計画を立てる。		1	
	2 学期	8	体験活動		○【13地域社会を築く】※テキスト使用 生活指導部+1学年 「ボランティア体験」以下の①又は②を行う。 →①生徒会や部活動で地域貢献活動を行う。 →②自分が在学又は居住している地域の社会福祉協議会等で募集しているボランティア体験に参加する。日野市ボランティアセンターをはじめ各市町村のボランティアセンター10カ所程度。(中学校、小学校、学童保育、保育園、児童館ほか)	4 (奉仕体験4)
			事後学習		→事後 クラス内で各自の体験を発表し、共有する。	1
10		事前学習・体験活動・事後学習	○【13地域社会を築く】※テキスト使用 生活指導部+1学年 「地域清掃活動～連携先：自治会」学校周辺で清掃活動を行う。	3 (奉仕体験2)		
11		演習	○【2学ぶことの意義】※テキスト使用 進路指導部+1学年 「大学模擬授業～連携先：NPO法人子どもの成長と環境を考える会」 →第一線で研究する大学教授の授業を通じ、学問の奥深さ、面白さを学び、主体的な学習者を目指す。	2		
12		事前学習・体験活動・事後学習	○【13地域社会を築く】※テキスト使用 総務部+1学年 「避難所運営ゲーム～連携先：日野市社会福祉協議会、大学生ボランティア等」 →事前 1学期の内容を発展させ、目的方法を学ぶ。 →体験 ゲームを体験し、災害時の地域社会と協力した都立高校生の活躍の仕方を考える。 →事後 1学期と比較し、成果をグループ内で討議し、クラス内で発表し合うことで共有する。	3 (奉仕体験2)		
		演習	○【19主権者としてのわたし、成年としてのわたし】 ※テキスト使用 教務部+1学年 「連携先：日野市選挙管理委員会又は日野税務署」 →主権者として、民主主義政治に関わる選挙の意味・仕組み又は税金の意味・仕組みを学び、社会を作る一員の自覚をもつ。 【2学ぶことの意義】※テキスト使用 進路指導部+1学年 「中央大学ガイダンス～連携先：中央大学」 →上級学校で学ぶ意義を探る。ワークシートを用い、自己理解に努め、主体的に学ぶ姿勢を醸成する。	4		
3 学期	2	事前学習・体験活動・事後学習	○【13地域社会を築く】※テキスト使用 総務部+1学年 「身の回りの物で災害時に活用できる物を作る～連携先：日野市社会福祉協議会、大学生、自治会等」 →体験 冊子「東京防災」を活用し、実際に災害に遭遇した時の対処などを自治会と共同体験する。	3 (奉仕体験2)		
	3	演習	○【最終章 「人間と社会～これからの生き方へ」を考える】 →これまで学んだことを生かしてこれからの生き方を考える。	1		
時間数の合計			道徳教育とキャリア教育の内容を一体化して学ぶ教科である。教務部が連絡調整役になって、週時程外で1単位実施し、各分室と1学年が連携して行う。	38 (奉仕体験16)		